

【 第19回熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時：令和5年1月10日（火） 14：30～15：30（予定）

場 所：本部棟1階 大会議室

本学出席者：熊本大学長 小川 久雄（ガウヒサ）

理事・副学長（研究・グローバル戦略担当） 大谷 順（オオニ ジュン）

司 会：理事（広報・ブランディング・行政連携担当） 宮尾 千加子（ミヤオ チカコ）

内 容：

1. 熊本大学キャンパスミュージアム構想について（資料1）
2. 「くまもとSDGsアワード2022」受賞について（資料2）
～ 盲学校用教材開発普及サークル Soleil（ソレイユ） ～
3. チュラポーン研究所・チュラポーン大学院大学（タイ王国）と熊本大学との間における
大学間交流協定の新規締結及びチュラポーン王女殿下による記念講演について
4. その他

※新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底した上で開催いたします。

熊本大学キャンパスミュージアム構想

熊本大学は、開かれた大学を目指し、各研究センターの連携により所蔵する国指定重要文化財(建造物)を核とした**キャンパス全体のミュージアム化**を図り、誰もが訪れ、学びたいと感じる大学づくりを進めて参ります。
 キャンパスミュージアム構想は、本学が有する文化財、学術資料、教員による研究成果や作品などを**知の資源**ととらえ、これらを教育・研究に積極的に活かしながら広く公開するとともに、「**くまだい力**」(=学術知&文化&技術)の**惜しみない提供**を通して、広く社会に貢献することを理念に策定されるものです。



キャンパスミュージアムシンポジウム



Campus Museum

熊本大学キャンパスミュージアムシンポジウム

デジタル技術が切り開く
地域文化財の未来

SYMPOSIUM

2022
10/15 土 参加無料
13:30-16:00
(13:00 開場)

場所 熊本大学工学部百年記念館
(高層南地区)

会場には五箇記念館等を
中心とした写真を展示します

同時開催

どなたでも参加していただけますが、事前申請が必要です。

QRコード

熊本大学
Kumamoto University

主催 熊本大学キャンパスミュージアム推進室 共催 熊本大学五箇記念館
お問い合わせ先 熊本大学キャンパスミュージアム推進室 Tel: 096-342-2864 Mail: museum@humamphoto.u.ac.jp
(社会共創推進課 Tel: 096-342-2047)



挨拶する小川学長

金田 明大 国立文化財機構
奈良文化財研究所埋蔵文化財
センター長の基調講演



約130名が参加

第1回スケッチ大会

第1回 **中学生対象 参加費無料**

熊本大学スケッチ大会

熊本大学の秋の風景を、アーティストと大学生と一緒にスケッチしよう。

【入場無料】
熊本大学では、キャンパスミュージアム構想を推進しています。その中心である重要文化財(五高記念館や工学部研究資料館等)をいろんな角度からスケッチしてみてください。

日時/ 令和4年11月12日(土) 9:00~16:00
(受付時間 8:30~9:00)

会場/ 熊本大学黒髪キャンパス
※熊本大学 教育学部正面玄関前 アゴラ広場(受付)

主催/ 熊本大学教育学部・熊本大学大学院教育学研究科
共催/ 五高記念館 熊本大学キャンパスミュージアム推進室 熊本大学熊本県推進機構地域連携部門
特別協力/ 熊本県美術家連盟
協力/ (株)肥後銀行 KMバイオロジクス(株) 日本バースト(株) べんてる(株) あおい会 ファーストフレイム九州(株) (有)文林堂本店 (有)教材のアラキ
後援/ 熊本県文化協会 熊本県教育委員会 熊本県教育委員会 熊本県教育委員会 熊本県教育委員会 熊本県教育委員会
熊本県版画工作・美術教育研究会 熊本県版画工作・美術教育研究会 熊本県版画工作・美術教育研究会
参加資格/ 中学生(学校からの事前申し込みを原則とします。10月12日締切)
賞 / 1作品「美連賞」(公開審査)、ほか、全員に参加賞。
参加費 / 無料。

開催や応募方法等については、QRコードを読み取りご確認ください。(熊本大学教育学部・大学院教育学研究科HP)





天気にも恵まれ、五高記念館前でスケッチ



最優秀作品(美連賞)1点、優秀作品8点を表彰



熊本市内、近郊の中学校等から、71名が参加

企画展「見よ、クマダイ研究力！」 「五高記念館竣工記念写真展」



本学教員6人の研究内容を
18点のパネルにて展示。
また期間中、出展した教員が
研究の様々な側面について
語るギャラリートークを開催。



再開館した五高記念館や
化学実験場、またその周辺部
などの趣を感じられる写真
21点を展示。

(撮影: 星野雅俊氏)

学生アンバサダー募集

あなたアイデアで
熊大キャンパスが変わるともに
情報発信できる仲間を求めています！

募集

museum@kumamoto-u.ac.jp

熊本大学では、重要文化財指定されたキャンパス全体のミュージアム化により、本校が地域に役立つ学政の拠点として歴史や教育活動のさらなる活性化を図るべく、キャンパスミュージアム構想を計画しています。このキャンパスミュージアム構想に若い感性を取り入れ、構想をよりよいものとするため、「キャンパスミュージアム学生アンバサダー」を募集します。

募集要項

- ①募集対象 熊本大学に在籍する学生
- ②募集期間 2024年10月1日～10月31日
- ③募集人数 10名程度
- ④応募方法 熊本大学ホームページから応募
- ⑤応募資格 熊本大学に在籍する学生
- ⑥応募書類 履歴書、写真、志望理由書
- ⑦選考方法 面接
- ⑧採用 10月31日までに採用予定
- ⑨お問い合わせ 熊本大学学生生活課
- ⑩お問い合わせ先 熊本大学学生生活課
- ⑪お問い合わせ先 熊本大学学生生活課
- ⑫お問い合わせ先 熊本大学学生生活課
- ⑬お問い合わせ先 熊本大学学生生活課
- ⑭お問い合わせ先 熊本大学学生生活課
- ⑮お問い合わせ先 熊本大学学生生活課
- ⑯お問い合わせ先 熊本大学学生生活課
- ⑰お問い合わせ先 熊本大学学生生活課
- ⑱お問い合わせ先 熊本大学学生生活課
- ⑲お問い合わせ先 熊本大学学生生活課
- ⑳お問い合わせ先 熊本大学学生生活課

キャンパスミュージアム構想に若い感性を取り入れ、
構想をよりよいものとするため、
「**キャンパスミュージアム
学生アンバサダー**」を募集。



SDGs
 未来づくり部門

盲学校用教材開発普及サークルSoleil

視覚障害者用学習教材の製作・寄贈による社会貢献

【取組み内容】

- ・ 視覚障害支援教育現場の「こんな教材があれば」というニーズを、モノづくりでカタチにし、全国の盲学校に寄贈しています。
- ・ 視覚障害をもつ子供たちの教育ニーズを満たす教材開発は企業には難しく、教育ニーズを満たす教材が不足していました。
- ・ 全ての人に平等な教育の機会を提供し、視覚障害のある人の大学進学率向上の一助となることを目標としています。
- ・ 今年度は4種類の教材の製作・寄贈を行っています。



評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	盲学校へ要望調査や試用評価を行い、改良を重ねることは、実社会で求められる開発手法と同様であります。
包摂性	全盲や弱視、視野狭窄等の視覚障害者などすべての人々が、健常者と変わらない進路選択を行える平等な学習環境を作ることが目標です。
協働性	開発メンバーは主に学生で、盲学校教員や盲学校校長会の協力を得たり、資金調達においては財団法人の支援を受けています。
統合性	少しでも家庭への負担を減らし、大学教育進学率を向上させ、将来の貧困を予防し、不平等を軽減したいという思いで活動しています。
透明性	工学部公認サークルとして、1年に1回活動報告を行い、1つの教材の寄贈活動完了の際には、大学広報を通じてプレスリリースを行っています。

貢献するSDGsのゴール



盲学校用教材開発普及サークルSoleil

視覚障害者用学習教材の製作・寄贈による社会貢献



パズル仕様で
国の形と位置を学ぶ



音声ペンでそれぞれの
国の情報を学ぶ



「**タッチマップ世界地図**」は、世界地図の教具が欲しいとのニーズを実現し、盲教育の地理学習の現場に健常者と同様の教育を普及させる事を目指している教材です。

現在の「地図に点字が印刷されている地図」では不十分との意見があり、新規教材として中高生の地理学習における学習の補助効果を有する「**触察型音声式地図**」を開発しました。

「**ふれあいどうぶつしょうぎ**」は、視覚障害に対応したユニバーサルデザインのボードゲーム・玩具です。視覚障害の強度によらず、年齢や障害の有無すら関係なく遊べます。昨年度、全国すべての盲学校に合計201台を寄贈を行いました。盲学校以外からも多数問い合わせを受けており、今年度は様々な支援施設や老人介護施設への寄贈を行う予定です。



盲学校用教材開発普及サークルSoleil

視覚障害者用学習教材の製作・寄贈による社会貢献



全盲児は空間認識が困難です。「おしゃべりボールぼん！」は全盲児を対象とした遊びの中で学ぶ教材です。ボールを投げる行動によって起こる、「飛ぶ」「当たる」「返ってくる」という動きと、当たったパネルの位置を教える音声により、空間概念の形成を目指します。全国36校が導入を希望し、16校に寄贈を行いました。今年度は残り20校への寄贈を目指しています。

「大気くん」は音声式の温度・湿度・気圧・高度計です。センサを用いて実測データを取得し、それぞれのスイッチに応じて温度、湿度、気圧、高さ変化の数値を発話します。高さ変化の読み上げ機能は校舎の階層の概念理解に役に立っただけでなく、登山の野外活動で地上と山頂の高度変化を教えるといった利用もされました。昨年度までに開発、改良を終了し今春20校に寄贈を行いました。



SDGs
未来づくり部門

盲学校用教材開発普及サークルSoleil

視覚障害者用学習教材の製作・寄贈による社会貢献



盲学校教員と開発会議をする



学会の場で機器展示を行う



県内の小学生に点字を教える

今後も継続して、視覚支援学校のニーズに寄り添う教材開発と寄贈活動を行っていく予定です。工学部公認サークルでは熊本大学の学生が主に関わる形になりますが、将来的には同じ目的を持つ他団体とも協力し、より多くの方が開発に関わるような活動に広げていきたいと考えております。サークル活動を行った学生の卒業後も、SDGsに関する視点を忘れずに、エンジニアとして活躍していきたいです。またこの教材で支援を受けた視覚障害をもつ方が熊本大学に進学し、このような開発に積極的に関わられることを期待しています。